



学校通信

令和5年度 第11号
令和6年 3月 1日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美

「よいところみつけ名人になろう」のなかで育つ子供

校長 岡部 良美

『よいところみつけ名人になろう』の取組を、学校・家庭・地域の協働の中で子供たちに進めてきました。毎年訪れる学年の進級・進学に向けた3月ですが、今年は意義深いものがあります。それは、入学式から6年間、『よいところみつけ名人になろう』の中で、生活してきた初めての6年生が卒業の時を迎えているからです。

4月の始業式・入学式で、私が6年間伝え続けてきたことです。

開三小のみんなが1年間頑張ることは、『よいところみつけ名人になろう』です。この意味は、自分のよいところも、友達のよいところも見付ける名人の事です。みなさんは毎日、どんどんよいところが増えていきます。一日必ず1つ、自分のよいところ、できたこと、頑張ったこと、そして、友達のよいところ、頑張っているところ、やさしくしている・してもらったところなどを見付けましょう。

月曜日朝会では、なぜ私が『よいところ見つけ』が大切としたのかを話しました。

小学校5年生の時のことです。一人で淋しそうにしている、多くの人から仲間はずれにされ悲しそうにしているAさんを見ました。その時私は「きっとAさんにもよいところがあるはずだよ。」と思い、それをクラスの友達に伝えてまわりました。そのあと少しずつクラスの雰囲気が変わり、Aさんも笑顔になり、安心して高め合えるクラスになりました。それから22年後、学校の先生になった時、子供たちを『よいところみつけ名人』でいっぱいにしたいと思い、そして今も、開三小で続けています。

学校のリーダーである6年生の言葉を紹介します。手ごたえを感じます。

- 5年生が鼓笛の教え合いの会の時に、きれいに並んでいて心強かったです。
- あいさつロードの時、1年生に「おはようございます」と言ったら、元気よく「おはようございます」と返事をしてくれました。
- 交通安全のシルバーさんにあいさつをすると、すごい笑顔であいさつを返してくれて、心がぼかぼかしました。
- ある友達は、だれもしたがることを何も言わないで、いつも進んでしているので、すごいなと思っています。
- 全校朝会で、しっかりと静かに始める準備ができている学年が多くてすばらしいと思い、4月と比べみんなが成長したなと感じました。

『よいところみつけ名人になろう』の取組の一つ、校長室前のこころポストに寄せられた『ぼかぼかできごと・メッセージ』のカードは1178枚。廊下に掲示したカードを多くの子供たちが読み、共有して『よいところのぼし名人』となっています。6年生から学び、今、1年生がすごい勢いでぼかぼかカードを書いています。

開三小は、これからの未来を創る子供たちを育てるために子供のよさを見付け信じて伸ばし、誇りである家庭・地域の協働のもと、教育活動を進めてまいります。

